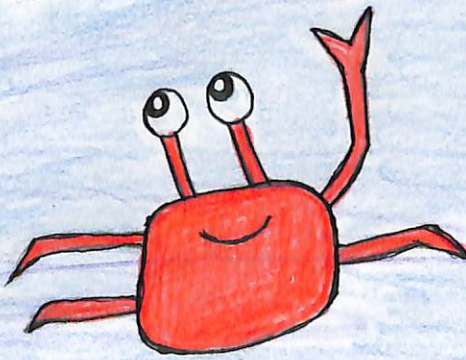
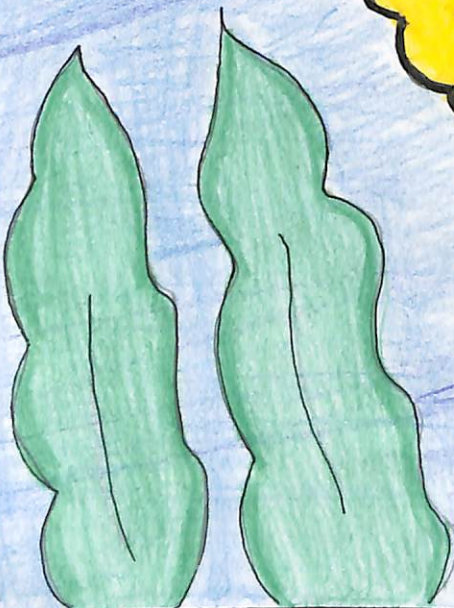


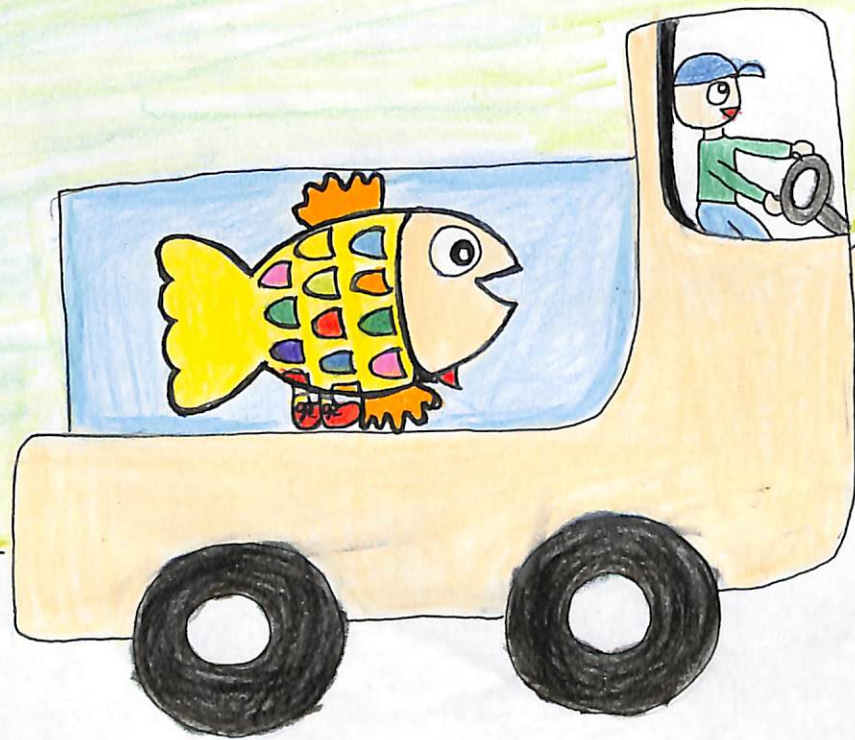
あるうみに、りのせかいにあこがれているフライアンという  
 さかながいました。フライアンには、カラフルなうろこ、ちいさなあし、  
 にんげんのようなおおきなひれがあります。  
 あるひ、さかなをつりにやってきたりょうしがフライアンをみて  
 いいました。  
 「なんてきれいなさかななんだ。このさかなをみんなにみせよう！」  
 りょうしは、フライアンをトラックのうしろにのせました。  
 フライアンは、とてもうれしくおもい、うみのせかいのともだちに  
 「いってきます。」といいました。



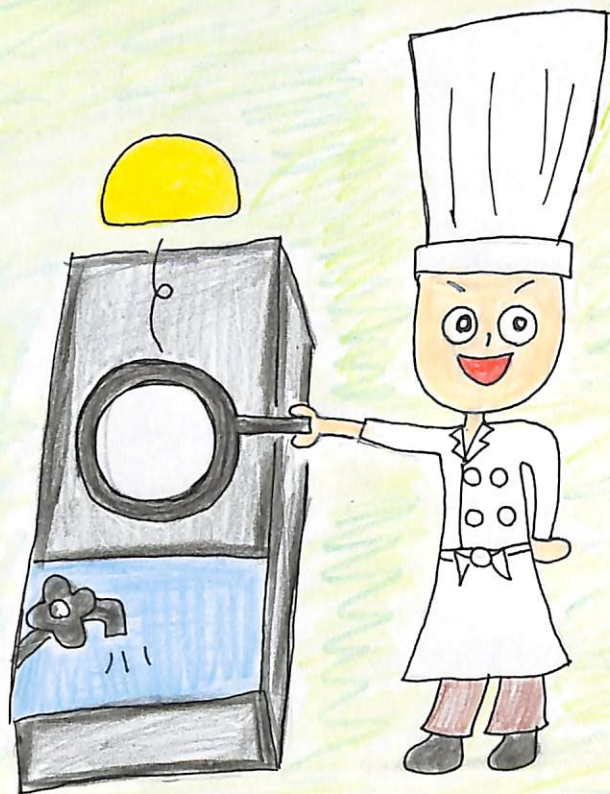




トラックにのっていると、ひとりのおじいさんにであいました。  
「こんにちは、おじいさん。ぼくのなまえはフライアン。おじいさんは、  
なにをしているの？」  
おじいさんはいいました。  
「こんにちは、フライアン。わたしは、はたけしごとをしているんだよ。  
たべものをそだてているんだ！フライアンのうろこ、とてもすてきだね！」  
フライアンは、にんげんのでによってたべものがつくられているとしり、  
おどろきました。そして、カラフルなうろこをきりきりさせながら、  
おじいさんにさよならといいました。



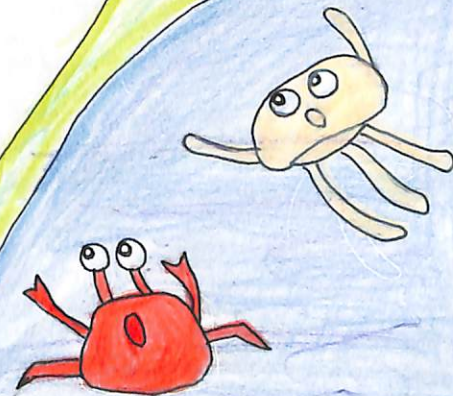
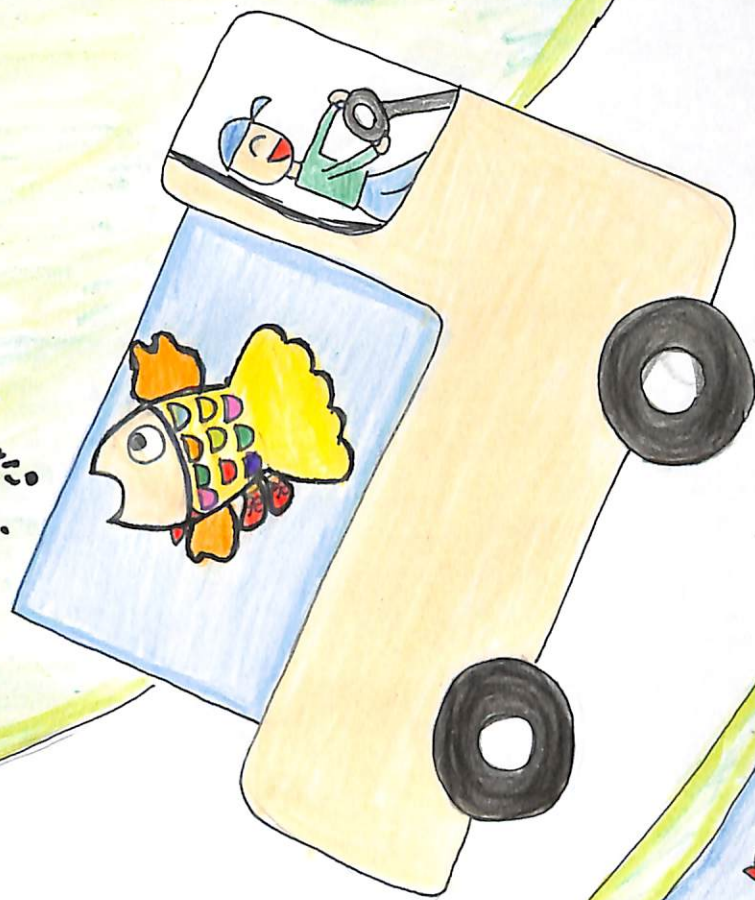




つぎに、おおきなフライパンをもったおにいさんにであいました。  
「こんにちは、おにいさん。ほくのなまえはフライアン。おにいさんは、  
なにをしているの？」

おにいさんはいきました。  
「こんにちはフライアン。わたしは、ユックでみんなのために、  
りょうりをしているのさ！いまつくているのは、オムライスさ。  
フライアン！そのあかいくつとてもおににあいだね。」  
フライアンは、みんなのためにりょうりをするにんげんが、  
かっこいいとおもいました。

そして、ちいさなあしをバタバタさせながら、おにいさんに、  
さよならといきました。

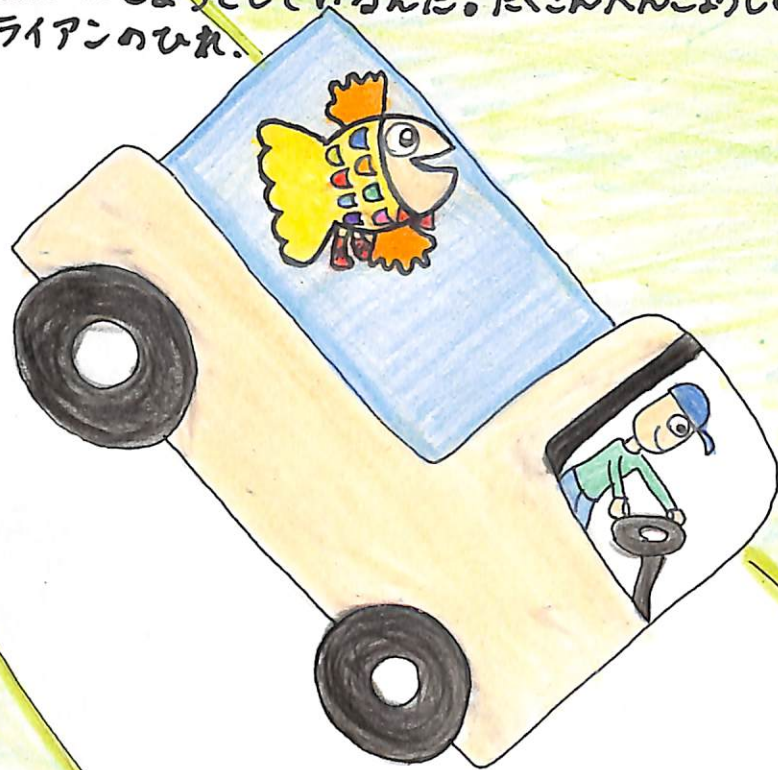




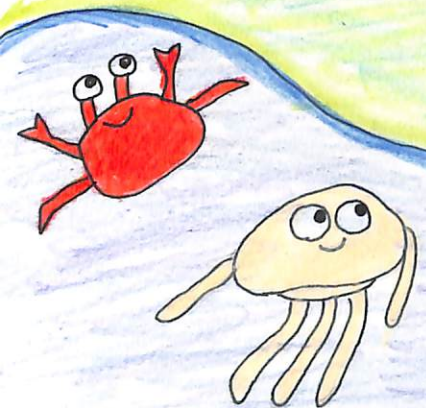
つぎに、こどもたちとであいました。

「こんにちは。みんな！ぼくのなまえはフライアン。みんなはなにをしているの？」  
こどもたちはいいました。

「こんにちはフライアン。ぼくたちはばんきょうをしているんだ。たくさんばんきょうして、  
りっはなおとなになるんだ。フライアンのひれ、  
とてもおおきいな！」

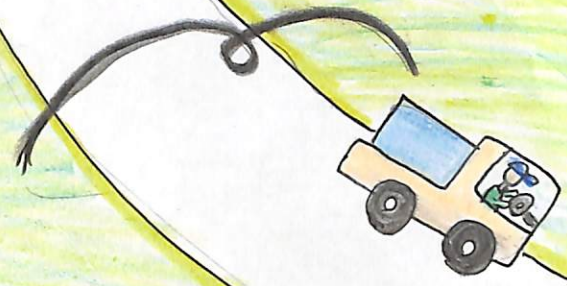
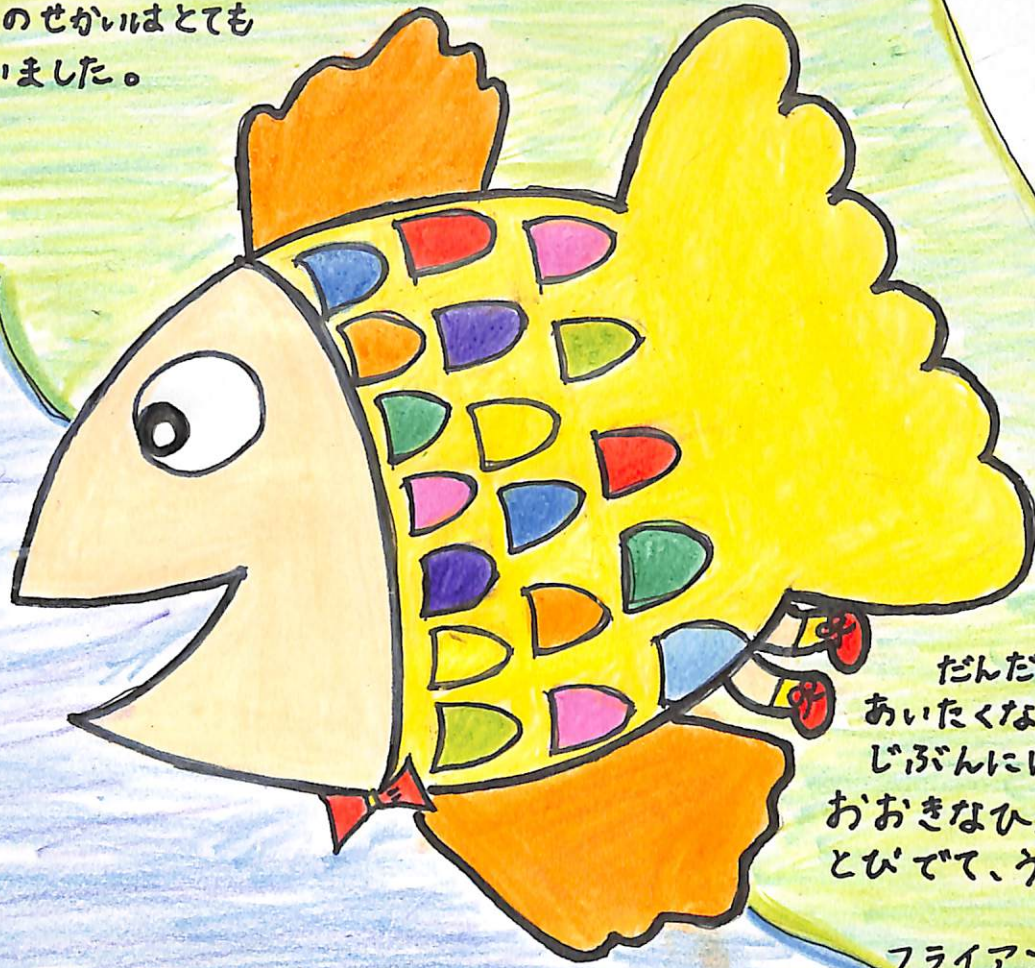
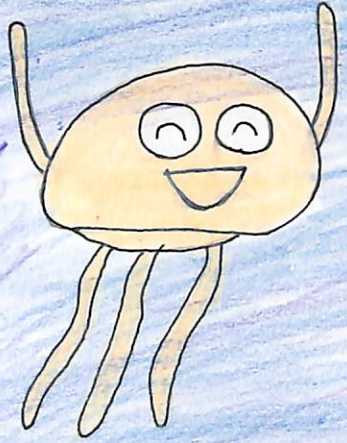


フライアンは、りっはなおとなになるために、  
がんばるにんげんのようになりたいとおもいました。  
そしておおきなひれをひらひらさせながら、  
こどもたちにさよならといいました。





フライアンは、りくのせかいはとても  
たのしいなとおもいました。  
しかし、



だんだん うみのせかいのともだちに  
あいたくなってきました。りくのせかいもいっけれど、  
じぶんには うみのせかいがいちばんだとおもい  
おおきなひれをひろげはばたくようにトラックから  
とびでて、うみへかえっていきました。

フライアンがかえってきて、うみのせかいのともだち  
も、おあよろこび。

その日のよる、フライアンはりくのせかいのことを  
たくさんはなしました。

